

仙台空港周辺  
5月28日



Arrival 到着

仙台空港も津波で、建物は壊滅的被害を受けました。現在は仮の施設で国内線が1時間に1便程度運航していますが、6月末には国際線も運航予定です。

JALの空港職員が、6月1日からJALが4便から6便へ、ANAが5便から7便に増便されると話してくれました。ただ全面復旧の見通しは全くたっていないとも。6月仙台から発着する便は、名古屋（中部）、大阪（伊丹）、札幌（千歳）、福岡の4都市になります。

Departure 出発

被災から復興へ

仙台空港周辺は、海岸線が近いために被害も甚大でした。いくつかの老人ホームやディサービスセンター、県立農業高校などがありました。津波の爪痕は今も残ったままです。鉄骨だけを残す建物、樹木はどうしたらこのような折れ方をするのか想像もできない形で残っていました。



県立農業高校で



破壊された老人ホーム 波の音が聞こえる近さだ



海側から空港方面を望む

<名取市の被災状況>死者 907 人、行方不明者 129 人、名取市概算被害総額 712 億 7 千 2 百万円。罹災証明受付 11,906 件、災害見舞金交付 2,517 件、避難所生活者 869 人、仮設住宅数 1,104 戸、(5月27日の名取市会議報告より)